



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は社会科の授業で第二次世界大戦について学んだとき、なぜ日本は原爆を落とすまでは降伏をしなかったのに、原爆を落としたらすぐに降伏をしたのかと思いました。私は広島にある「原爆ドーム」を見たことがあるし、資料館にも行って、十数万人もの方々が亡くなったのを知っていました。ですがなぜか、たった1つの原爆で、十数万人も亡くなり、二十数万人もの方々を後症などで苦しめたのか分かりませんでした。でもこの原爆先生の特別授業を受講し、ようやく苦しめた理由が分かりました。「Eノ7ケイ」と言われ爆撃機によって広島に原爆が落とされたこと。落とされた原爆は、太陽の表面温度より高い7000℃だったこと。そして熱線、衝撃波、放射線によって多くの命をうばったこと。私はこのことを知ってもう二度と何万人も亡くなるなんてことがないようにと願う世界中の人々の気持ちは原爆ドームを世界遺産にしたのだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

米国が日本の長崎と広島に原子爆弾を投じたことを知せて
ください。日本人に甚大な被害、負傷者死者も多。原子爆弾
の温度は非常に高いです。爆発の範囲は非常に広く、太陽に非常
に近い。原子爆弾は急速に落ちていきます。原子爆弾投下都
市の条件は①直径5キロを超える、②平野であること、③空襲がな
かた。原子爆弾は人間の健康を良くない。人は悲しい。この戦争
を早く終わらせたい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は今回の特別授業で特に心に残ったことが2つあります。

1つ目は、怖いと思ったことです。ただ単純に怖いと言うわけではなく複雑な、なんと云えばいいかわからない気持ちでした。映画や世の人が原爆のことを少しは知っていたけどそれでもなお原爆のおじひさを聞くと複雑な気持ちになってしまふことが本当に心に深く残りました。

2つ目は、義三さんの「人な生やさしいものではない」ということは「が心の奥底で自分の気持ちを複雑にしてきたことです。当時に生きているはずもない自分が思っている何倍も悲しなものだったと想像すると怖くなるし、当時の義三さんの気持ちがどのようなものだったのか、被爆士世が当時どれほどひどかったのかを考えると想像を絶して心に深く残りました。

これから二度と原爆の被害を出さないためにどうするか考えていきたいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は今日、原爆の怖さをあらためて感じました。
約1年前、私は夏休みの読書感想文で、
「パンキン！」という原子爆弾についての本
を読んでいたときに私は原爆の恐しさを初めて
知りました。ですが今日の話をくわしく聞いて
被爆者の方々の苦しみをあらためて感じました。
大がけとした体び火災用水路中川などに飛び込
んだ人が義三に助けを求めると、そしてそれを見
ている兵隊たち、すべての人が苦しい思いが
大変な思いをしたこと、それを今日私は学びました。
なので二度とこのようなことがおこらないことを
願います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は原火暴先生の特別授業を受講して原爆がどれほどおそろしい怪物かということを知った。

原火暴がおそろしい怪物だということとはもともと知っていたがここまでとは知らなかった。

米軍の人もおそろしいことをしたということも命がけだったということだしどちらにも危険があったということから戦争かやてはいけないのに今戦争がおきているし戦争は無くすのはむりなのかもしれないけど戦争で人が亡くなるのはいやなので平和的に解決する方法を取り入れてほしいと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/7

原爆は、もう二度と使ってはいけないと思った。
原爆は、想像していたよりも恐ろしいものだ
ということが分かった。原爆が爆発して、衝撃
波が起きて、爆心地の温度が3000℃になり、
上空600mの爆発の中心、温度が100万℃に
なり、空気が7000℃になることにおどろいた。
また、広島市の人口の4割が死亡したこと
もおどろいた。原爆が落ちたことは知っていたけ
ど、原爆がどんな物でどんな被害が出るか
まではくわしく知らなかったので、そのようなこと
が知れよかった。これから広島や長崎に行
くことがあったら、原爆資料館や原爆ドームに
も行って、原爆についてもっと知りたいと思っ
た。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

今回、原爆先生の話しを聞いて、
ほくは、もし原爆があた時に生きてい
たら、真赤になって、皮膚がおけ、肉が焼
けまがれることになっていったと考えるだ
けで、恐怖だけど原爆があった時の
音も、かなり怖いと思いました。

原爆一つで広島の人口35万人の
うち、被爆者が24万人死者が14万人
という人が言っていることが改めて
分かった授業でした。

ほかにも町などが次々に壊れていき、
火の海になり、町が熱くなっていること
が分かりました。

原爆の中心の温度が100万℃、表面温度が
7000℃、表面温度から地上まで600mあっても
3000℃もあるたら、だれもたえることは、
出来ないと思いました。

この話しを聞いて、改めて、原爆が怖い
と思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅうこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

社会の授業で、広島に原爆が落とされたことは知っていたけれど、広島に原爆が落とされた理由や、爆心地の様子などこまかく説明してもらい、小学校の授業ではふれることがない部分を知ることができました。

また、私は被爆した人達の様子が心に残りました。なぜなら被爆者の姿が爆心地に近づくにつれて人間の姿が変わっていくことが本当に見たことのように感じたからです。

あらためて原爆のおそろしさを感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

31

原爆先生の話聞いて、自分が思っているより、すごく「かたんた」なと思いました。

とくに、原爆の熱線を浴びた人が、もう人間の姿じゃなかったという話を聞いて、そのぐらい原爆は、^凡怖しくて、原爆の被害を受けた人ではしか分からない恐怖だったんだなという事が分かったし、被害を受けてない人でも、原爆先生の話聞いて、^凡恐ろしいなと感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3 / 1

広島原爆の授業を受講して私は複雑な気持ちになりました。理由は2つあります。1つ目は、ひ書にあたり人達の苦痛や、早くこくの底からぬけ出したい気持ちというのが実際に体馬喰しないと分からないというくらい難しい感情になつたからです。皮ふが火荒れただれというのとは一体どう事なのか分かりそうで分かんなくてモヤモヤした感じになりました。2つ目は最後にテレビで見た男性のお話で、勇気がすごくある方だなと思いました。理由は、自分とはとつともなく小布い体馬喰をし、とても恐いこう景を見たはずなのに、それを堂々と伝える勇気がすごいと思いました。(自分た、たら怖くて言せない)あの時あの生々しさを感じるのにはすごく難しく、すごく怖いけど、何かあの時を、一つも感じられたら、それはそれで良い事だと思つた原爆先生の特別授業でした。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は、広島のごとは、兄などに聞いたりインターネットで調べたりしていたのでよく知っていたのですが、人の視点から聞いたのは初めてのなので、少し楽しかったです。内容は少し、怖い物が多かったのですが、原爆先生は一つ一つていねいに、おしえていたたいたので、わかりやすくよく理解できました。原爆投下に条件があるとは知らず、でも、どこか、条件にあっていた場所かなど、資料に書いているので、見るだけでよくわかった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

話すときに大事なところは2回繰り返したり、エフェクトをつけたりと、話し方が特徴的で話に引き込まれた。原爆の本は何回も読んでいたから、知っている気になっていたけれど、今回話を聞いて、自分の知らないことはまだまだあることを知った。

広島へ、まだ一度も行ったことがないため今後行ってみたいと思う。原爆について知っていることといえば、人が燃えて、川が人で埋めつくされていることぐらいだったが、特別授業を通して、そんな単純なことで解決してはいけないのだと思った。「皮フがズルッとはがれる」という表現を聞いたたびに、それを直接目にした訳ではないけれど、寒感がして鳥肌が立った。

原爆が昔のことになるにつれて忘れられることのないように、後世へ伝えていきたいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

今回、色々なお話を聞かせていただいて
知らない事がたくさんありました。もちろん
原爆がたくさんの人を傷付けてしまう事は
知っていたけど、想像以上だった。
原爆が太陽より、高い温度になることを知
た時は、かなりショックだった。太陽に
近づくと死んじゃう。この事を知っていたから、
太陽より熱い物が近づいて来るなんて、想像
ですら出来なかった。また、ショックを受けた
画像があった。でも原爆先生のお父さんの
言葉は「キレイすぎる」だった。全く健康とは
言えない人が「キレイすぎる。」じゃあ、キレイじゃない
人はどんなに悲しい形になっているんだろうと
思った。原爆先生の話を聞くだけで
ゾク...とするのに、当時それを見た人は
どんなにショックを受けたんだろうと感じた。
話を聞いて見て分かった事もあったけど、
まだ私は何も知らなかった事に気付いた。
知った気にならず、今日学んだ事を覚えてたい



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

戦争の怖さがあがためて分かりました。
原爆が落ちるとき、自分がその場所にいる
ような感じがしました。原爆先生が話
している途中。いきなり先生が「静かにな
て、1分くらい続いたとき先生がいきなり
叫んでびくりました。その原爆は音よりも速
く落ちたらしいのでいきなり叫んだのもそ
のおどろきを表現しているのかなと思いま
した。2回目の原爆の話のときもまた静かに
な、「次またくるからかまえよ」と思いかま
えながらまていました。怖かったですけど原爆はこ
なくて「その場にいた人も二人な感情だったのか
な。もって怖かっただろうな。原爆がなくてすごく
安心しただろうな。」など色々感じました。
説明を聞いていて原爆が100万^tとか川に死体
が数えきれないほどあったとか信じられない
事ばかりだったけど知れてよかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

本日は、特別授業をしていただき、ありがとうございました。大きな声を出されたときとてもびっくりしましたが、本当に起きたときは、もっと大きな音だ、たのだからなと思っています。最初は「怖い」だけだったけど、とちゅうからは、「大変だ、たんだな」「辛か、たんだな」等、色々な事を考えました。分かりやすい文章で、はきはきと話していただいてとても分かりやすかったです。自分だったら、何千度もある場所です。居られる自信もなければ、けがの痛みもたえられる気がしません。自分が体験している側だったら辛くて辛くて仕方ないような話をしていただいてありがとうございました。また、想像しやすいようにイラストや画像が使われていて、自分がその場にいたような気持ちになりました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

1つ1つの資料や、動画なども見て、
24万人の人たちが、助けと...助けとわめいたり
泣いたりして、心を動かされた。
衝撃波の速さや、色々知れてよかったです。
人の顔が赤く、手はななめに下げ、
油や血をたれ流す絵を見て、本当に残酷でした。
横に3、2m重さ47の爆弾を落され、
多くの方が亡くなってしまった。
この勉強で、原爆ドームのことや、
爆弾のことを色々知れてよかったです。



原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

3/1

名前は裏面に記入してください

今日、原爆先生の話聞いて原子爆弾のおそろしさを改めて知りました。原爆は、外周だけでも7000℃もあり、太陽の温度を超えていたので驚きました。原爆が落とされた後、広島市全域が灰色に包まれて、がしきになってしまったり、人が水の中にほぼ同じ形であぐまったり、皮は、ほぼなくなっていたり、肉がむき出しで、骨が見えてしまったりしていたことを知り、ゾッとしました。よしぞうさんは弱音を一切、はかずに、兵隊としての役割を果たして、すごいと思いました。後、衝撃波の速さは毎秒440mと音の340mよりも秒速が速かったので驚きました。原爆ドームでは、この怖さやすごさがたくさんつまっているの、行ってみたいと思いました。今日聞いた話は、流さないで、ずと頭にいれて、生活をしていきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は今まで、あまり原爆について深く考えたことがなかった。原爆ドームを目にすることは多かったが、そこから今日の特別授業で見せていただいた光景を想像することができなかったからだ。だから、今日の原爆先生のお話にはゾッとしたり、グロイとか、そういう簡単な言葉では表すことのできないものなのだなあと思った。よく、祖父母に戦争の話がされる。しかし、私は本気で真剣に聞こうとはしてなかった。今日は、そのことにすごく後悔したし、これからはもっと真剣に聞こうと思った。正直、私は今日の授業の内容が、実際に起きたことだとは考えられなかった。なぜなら、一瞬間にして広島が丘きとび、何万人もの人々が死んでしまう力のばくだんが、現在世界にたくさんあるなんて信じられないからだ。今、ウクライナとロシアで行われている戦争も、原子ばくだんのようなおそろしいものが使われる前に、終わってほしいと思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私はいつも、原爆ドームの話や戦争の話をする時、耳をふさぎます。

でもこの授業の時は、怖くて耳をふさげませんでした。

よくテレビでやっていたような事ではなく、細かいことまで全て

聞きました。私が思っていた想像よりもひどくて、聞いていて自分を

いなくなるほどでした。小さい子とから大人まで、色々な方が

あの日の害に会い、もし自分だったらと考えるとゾッとします。

ほうしゃ線をあひるだけでせくな。てしまう。そう考えるととても

怖いです。あの時の害を受けた方を助けた兵隊の方も、自分だって大変

だ、たはずなのにすごいなと思いました。

戦争は始ま。てしま。うともう今更止められません。それに、私たちが

「戦争はもう一生しないようにしよう!!」と。言。って。も。ダ。メ。で。す。

だから今の私たちができることは、原爆が落とされたあの日のこと、

そして戦争が始まった日を忘れずに過ごしていくことだと思います。

だから、これからも忘れず過ごしていきたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

授業で習った教科書にのっている原爆よりも生の声が入って
いたり実際の写真、動画が入っていた事で原爆の被害や
恐ろしさを実感することができた。

実際に現場にいた人の話があって平和記念資料館の資
料だけが全てではないということが分かった。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/11

原爆の破壊力をあらためて実感した。
外の(円)部分ですら7000℃もあって怖くなった。
太陽が地球に大接近したのと同じだと
聞いた時、本当にあったのかも疑問に思った。
人々は暑さに耐えきれなくて川に入。たのに
川も蒸発して水もふ。そうしていったので
爆、じ地の近くに入った人たちはもう助からない
ものだと思った。広島市の人口の約40%の
人たちが亡くなっている事におどろいた。
衝撃波の速さが音よりも速い事がひっ
くりした。原爆の重さが47もあつたこと
にびっくりした。放射能によってかみかぬけたり、
血を出し、熱(高熱)を出して死んでしまった人
も多々いたんだな。と思った。そのことから
もし原爆から逃れる事ができても、放射能で
死んでしまう人も多々いたんだと思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は今回改めて原爆の事を知り体験した人の怖さ
恐怖心が分かった。最初の原爆投下の音の再現を
聞いたときにすごくびっくりしたけど体験する人の事を考え
てみると音だけでなく景色も見えるのでびっくりした程
度ではなく怖いという気持ちだ、たのかなと思った。

原爆投下の後の話では怖いという感情をこえた
もう感情もないくらい怖さというのを感じたのかなと
思った。自分は幸い助かったけども、被爆者達は
兵隊に助けを求めていてその兵隊は自分で助けおとしたけ
どもムカバズルッとむけてすごくグッとたと言っていてすごく
怖いの命令に従いけず被爆者を助けようとした事が
すごいと思った。助けられない命もあ、たけど最後の方に出で
た17才くらいの少女を助ける事が出来た。つまり助けら
れない命もあるけれどもあきらめずにいると助けられる命も
あるんだなと思った。すごく怖いけれどもあきらめずに
最後まで自分のやる事を果たして、すごいなと思った。

そして私は二度と原爆、戦争などを起こしたくないと思
った。そしてみんなが不幸、苦しみを感じさせない
明るくみんなが幸せになれる世の中にしたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

広島と長崎に原爆が落とされたことは学習したから分かってはいたけれど、小倉や京都などにも落とされる可能性があるのは初めて知った。

実際に話を聞いて、原爆が落とされたその日だけでなく、今も苦しんでいる人がいることを知って、原子爆弾の恐しさを改めて思えた。

被爆者の変化を聞いて、ただれたり全身やけどを負ったりとふつうなら起こらないはずのことが起こっていて、考えただけでも鳥肌が立つような怖さだった。

教科書や資料集にはのっていない、当時の話を聞いて怖かったけどふだんなら絶対聞けないような話をし頂いて当時の怖さや様子を知り、世界の平和を守るためにも、この出来事は忘れてはいけない、と思った。

もう二度と日本び、世界びこのような出来事が起きないようにしてほしいと感じた。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

教科用図書や図鑑を見るだけでは
分からない、感じられないことを特別授業を
通じて感じられたと思う。

米国では原子爆弾は「本当なら多大な
犠牲を出して日本を降伏させるはずだった
のが原子爆弾によってあまり犠牲を出さずに
すんだ」と(日本におとされた)原子爆弾に
対し、あまり悪いイメージはもっていない、
らしい。でもそれは今日の学んだことを知ら
ないから思っている。授業で あまり
ことなのだと思う。だから、今日の授業
などを受講するなどして原子爆弾につい
てより深く理解してほしいと思った。

今まで自分は原子爆弾については何と
なく怖いものだと思っていたけど、授
業を受けて、原子爆弾についてより深く
怖さをしれたので、今後原子爆弾が使わ
れないようになってほしい。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

今日の授業のように貴重な体験はとても大切だと感じました。そして、実際のお話を聞くことは、教科書で学ぶよりも、心に残りました。原爆とはとても危険なものだということも分かっていましたが今日の授業で原爆のことについてもっと理解が深まりました。外部が7000度、太陽の表面温度をこえる球体、音速をこえて建物を粉さいする衝撃波、おそろしい原爆症を引き起こす放射線、原子爆弾が爆発することで起きるえいしょうはどれも予想をこえるおそろしいものでした。また、被爆者の話のところも生々しく、安全を今でも恐怖を感じました。こんなにもたくさんの人たちが苦しめ、亡くなってしま、たことを苦しく思います。そして、それを目の前で見、体験した人は、今の私たちでは想像もつかないくらいに感じたと思います。

最後に、この授業を通して私は今の安全で平和なくがしは、とても幸せなことなんだと感じ、今日の学びは大切な経験だと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

教科書では分からないことがたくさんあり中でも原爆が爆発した時の衝撃波の速さといりよくがこわいと思った。

理由は音速よりも速い衝撃波が地面にあたってはねかえってき、それが飛行機にまでくるくらい強いのをまともにくらってしまった。あとかたもなく一瞬で死んでしまうことが残念だと思いいいと思った。またそれが太陽よりも外周が1000℃高く、これを全てをとがす兵器を作ったアメリカがこわく思う。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

原爆のおそろしさやひんさんがとても伝わってきた。苦しかった。教科書とかで歴史を学んだだけなら、ただの知識として、こうなればこれだけの人が死んだんだ、というので終わっていたかもしれない。しかし、こうして特別授業を受講させていただいたことで、原爆について感情的に、知ることが出来た。また、原爆先生の話の仕方、実際のえいそう、話でこわくなった。

日本は、もう戦争はしないことが憲法によって決まっているが、世界ではそうではない国の方が多いと思う。今、ウクライナとロシアが約一年間戦争していて、他にも紛争などが起きている。原爆で多くの人々がなくなるというのはとても悲しくてこわいものだし、特に戦争をのぞんでいない人やだれかを助けようとする人が亡くなるのはつらい。今回のような特別授業をもとに未来の人々にも言って、外国のいろいろなところでも言って、二度と原爆の被害がでないようになしてほしい。そして、原爆のおそろしさ、戦争のおそろしさなどを知って、平和な世界になしてほしいと、この授業を通して思った。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

今まで思っていた原爆の事よりも、はるかに想像
をこえて怖い(おそろしい)事を実感しました。
かつて太陽の温度が6000とものに対して、原
子爆弾は7000とともっと温度が高いことを
知り、いつどこでくるかも分からない7000℃のもの
が自分の頭上から降ってくると思うと相当怖
いはずなのに、それを実際に体験し、皮膚が
ボロボロにたにたれ、痛みをたえていた人達はそ
の時言葉に表せないくらいの辛さで、現実を受け
とめなければいけなかった。ほとんども残った気持
ちになりました。今日の授業を聞き、原爆、そして
戦争は平和を一瞬にしてなくし、人々に大きな
影響をあてたのだと改めて感じました。なので
私は、まだ戦争や原爆の事を知らない子達に
もこの辛さを教えていくことが大切だと考えました。
今生きている多くの人々、そして世界には平和が
まわってほしいと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1(水)

- 「私は戦争が少なりの平和な時代に生まれてよか
たな」と思った。
- 原爆で亡くなった人は、太陽よりもあつい原爆でもてるしか
た。とか動画や写真ですごく伝わった。
- この授業で原爆についてたくさん知ることができた。
- 「7000℃の少年」という題名も後半ですぐ分かった！
↳7000℃... 太陽よりもあつい球体。
少年... リトルボーイ(広島に投下された原爆)



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/1

社会の授業をして、広島・長崎に落とされたことなどは知っていましたが、今日原爆先生の授業を受講し、様々なことを深く知り、原爆の怖さがより増しました。よしぞうさんが1週間以上かけて処理をした時に、じんだけ頑張り、道にいる死者も助けようとしたり、兵士としてやり続けたかを感じず「いいことなのだ」と分かりました。原爆先生の話の途中で間も入れたり、大声で爆発音も表現してくださったことでその時の怖さや、ソワソワする気持ちが伝わってきて、もし自分がよしぞうさんの立場だったら自分が兵士だったとしたら...と考えていくと本当によしぞうさんのようにこなせ続けていたのか、と様々な思いと考えがぐちゃぐちゃになっていってしまいます。よしぞうさんのような兵士が行い続け、原爆先生のように戦争や原爆のことについて語ってくださる人がいるからこそ、今「戦争はしてはいけない」と強い意志を持ち、平和な日本が作り出しているのだと改めてすばらしいと思います。戦争当時の太陽のような暑さが600mほどの上空にあるのは考えられず、広島・長崎には、その後、原爆が落とされたくないという気持ちから、その気持ちが今後も続くように、原爆ドームなどを作り、人々に、その強い

意志を伝えているのだと言うことが、受講し今まで自分が知っていた戦争とは異なる深い気持ちも持つことができました。今回授業をしてくれてありがとうございました！

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/1

原爆のお話を聞いて、苦しいとか怖かったんだろ？なとか一言で表わせない気持ちになった。

よしろうさんは、17才で入隊して戦場で戦った。軍事物しを取りにいて、ドラム缶があって9人+トラックの運転手は助かったけどドームの方の人は2万人がすぐ亡くなった。この17人は奇跡的に助かっただけかなと思った。

トラックで被爆者に助けを求めた時、よしろうさんはそれに涙しようとしたけど無理だった。ふふがむけて、えき本たれて、痛いから手をななめ前におろして歩いてつらくて今は絶対に分らない苦づらを感じて本当にひさんだと思った。

助けられた人は少なく結果14万人がなくなった。同じく助けを求めた男の子も勇気があつてすごいと思った。お姉さんを助けるために。

放射線であつくて川に入り、亡くなる

よしろうさんの話を聞いて、生々しく思えた。

しりよつかん
ときんは
ないといひ
なかに

実際に起った話を本人だからこ分かることもあつた。

（じがきゅう）
と付た。

泣いてた時どんな気持ちか分らない。けどどいだけ入つたにえんない。辛い、怖い、涙があつたのかかづつた。心から悲しいのかと実感した。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

本当にひどい状況だったんだな、と思いました。

また、爆心地にいて一瞬で亡くなった方々のほうが

また幸せたな、思っていました。もちろん、一瞬でも

想像のできなような痛みはあったろうし、何もなかつたら

あったであろう普通の日々を奪われてしまったのは

本当に悲しくて苦しいことだと思います。しかし、少し

はなれた所にいた人たちは、全身が焼け、血が

流れ続け、体が熱くて死にそうなるほど痛いのに

死ねない、兵隊に助けを求めても、今の状態だと

何もすることができない、必死の思いで水にとび

こんだ人も7000℃というあつさで水がふっとうし、

ゆてられて苦しみながら死んでしまう。(さきほどおきまはが)

→兵隊に助けを求めても、肌かはがれ落ち、とてつもない

痛みで襲われる。直接的な被害はなくとも放射能を

あびて、原爆症にかかり長年苦しめられている人たち。

こんなにたくさんの方がいるのに、日本は何も得してい

ない。戦争は「無くす」だけでない、もうまな、人たな

と改めて思いました。もう二度と原子爆弾による被害者

は出してほしくない、強く思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は原爆先生の話を聞いてとてもびっくりしました。
やはり本当にあつたこの時ぞうたから生々しくて
少し気持ち悪くなつたけど昔こんなときがあつたと
知ると、絶対昔あつたから今はなくさうと思
えるよつてゐる。原爆がおとされたのは広島と
長崎なのは知つていたんですけど候補として小倉や
横浜、新潟、京都があつたのは知らなかつたので
おとさしました。それに広島に投下された原爆の名
前は知らなかつたので初めて知りました。
今日の特別授業ありがとうございました。とても心が
やすかつたです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/7

想像していたのより、とてもくわしく、リアルなお話でした。聞いて
いるだけでもすごく怖かったです。お話から考えさせられること
が多く、とても胸が苦しくなりました。授業だけでは分から
ない、特別授業でしか知らないことが多くあり、ためにな
りました。今では考えられないような悲しく、怖い事実...
でも知らなくてはならない事実だということが分かりまし
た。ただ怖いたけでなく、このようなことが2度とおきな
いように知っておくのだと思いました。主人公目線でお話
が進められていたので、分かりやすく、おそろしさが伝わ
ってきました。原爆についてわかっていると思ってたけれど、
お話を聞いたら、私の知っている原爆については、とてもとて
も少ない、ほんのわずかなことだけだったんだなと思
いました。実際に体験した人のお話の動画を見て、私の
思「怖い」ところイラストたち(実際に体験した人たちの「怖い」
という思いは少しちがうんだろうなと思いました。
とても怖いお話だ、たけれど知れてよかったなと
思います。2度とこのようなことがおきないようにしたい
なと思いました。今日は、このような機会を準備して
いただく有り難うございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/1

原爆先生の話を聞いて、原爆のことが分かりました。

そのころさの中で、とくにびっくりしたことは原爆の熱線(衝撃波と放射線)です。熱線は、中心ではなくても太陽の表面温度(6000℃)をこすと言われて、驚いたし、まじからくるので、建物などがけがにならなず、熱線からのがれることができません。川に入った人も全員、皮膚が黒くな。それかえり、鉄も植物も全て黒くな。たり、気体にな。たし、たという、歳三が実際に見た話をきいて、こおまじ、すごく伝わりました。また、熱線の影響で、原爆の雲が成層圏にまでい。くのに驚きました。

衝撃波は、周りの建物を全てこわし、歳三も10%以上飛ばされたという話が、音速(340m/s)よりも速いという話で、それが自分にぶつ。かてきたら、と思。うととてもこわくなりました。

放射線は、衝撃波や熱線のように、その場で死んだり、傷。ついたりするのでなく、歳三のように、死ぬまで、60年以上もす。と、原爆症で苦しむ続けると知。て、驚いたし、こわくなりました。

原爆のこわさを被害などが、教。育場での、い。る話だけでは伝。わりな。いことでも、実際に原爆先生の話を聞いたたり、歳三さんのビデオでよく分かりました。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3/1

私は、原爆先生の話を聞いて、あまりにも、さんごくすきる
……。どうして戦争なんて…。そう思、た。昔の人はどれだけ
くるしんで生きたんだろう…。いつ、原爆が落ちるか分からな
いののに…。必死で生きていたのがつたわりました。

何より、まだ大人じゃないのに、無理やり、へいたいに入れら
れるのも、さんごくで、もし自分がそうなら、とても
くしいと思います。だから昔の人は、今まで、死ぬ覚悟で生きて
いたのがすごいと思いました。原爆先生の話で一番おど
ろいたのは、人々がヤけどをお、て、ひふがとけ、ポロリと
落ちたという話です。そう思うだけで怖いし、ふるえがとまり
ません…。その人達は、とてもくしかたと思います。大きい
ヤけども手がとけて、ひふが落ちる…。ふつうではありえなく
て、思い出すたびに、なみたが出そうになります。

こう思うと、今は、平和なのかもしれないと思いました。

コロナウイルスのせいで人々はストレスのかんきょうになります。

そのせいで、世の中は、悪い事をする人達が増えています。

ですが昔の原爆戦争と比べると今の方が、やはり平和です。

世界はまた、大きな戦争をおこしてしまうかもしれない…。

そう思うと怖いけど、私は、必死に生きよう!!と思

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

いました。今回の原爆で習ったおかげで、命は本当に大切な物
だとあらためて実感しました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

3/1 (水)

今日、原爆先生の特別授業の機会を頂き、教科書や
ふたんの社会歴史授業では知る事ができなかった事
ができた。貴重な体験もさせて頂きました。
ずいぶん衝撃を受けましたので「昔」とは知る事が出来ませんが
原爆の影響には改めて恐怖を感じ、おろろの实体经济
には今も生き残り着らへてきて、私には知る事もできないような
衝撃がありました。そして原爆のいかに恐ろしさを感じ、二度と
この様な兵器がある時代にならないて欲しいと思いました。
8月6日午前8時15分に突然に落とされた原爆により
多くの命が失われた事や今も未だ苦しんでいる人がいることを改めて
深く、多く感じました。原爆先生が話していた灼熱の熱波・熱風に
よって一瞬にして消えてしまった人の事を聞き、その太陽の様な熱さが
人も消すことに驚き、恐ろしく感じました。おろろの兵隊に助けを
求めた人々やそのおろろの兵隊さん達の心苦しい気持ちや
話や絵、写真などで痛いほどに感じられ、同時に涙が出てきました。
実際に原爆資料館を訪れたおろろの「あれほど生温か
ではない」と話言葉に詰まる様子は、教科書や授業で学ぶ原爆
にかつて少しも知らなかった自分にはすべからず実感しました。実際
言葉に言葉で表すことができない程生々しく、複雑で思わす耳を抑えて

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

ほいそうに付る程の衝撃のあるお話をあり、これから生きていく中で
最も貴重な特別の体験だと感じました。貴重な機会を有り難うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

3 / 1

社会の教科書や、資料集ではわからなかったことを、ちゃんと知れたし、他の紙の資料から、教科書などにのってなかった写真があって、すごい原爆のことがわかりやすかったです。

広島市人口 35万人の内、被爆者数 24万人 (5人に2人) その内死者数は14万人 内2万人がいっしょに死亡したことが、資料から分かりました。そして、原爆のあつさは、わからないけど、3000°と言う。ぶつうのやけどじゃすまないくらいの温度が、1つの原子爆弾からでて、広島市をいっしょにやいたということがわかりました。私の中では、原爆の被害にあつた人たちは、全買いっしょで亡くなってしまうと思っていたけど、実際は、すぐに亡くなってしまう人もいれば、大きなやけどをして、ひびかただれるほどの被害にあつた人もいると知り、私はそのつらさや痛みが分からないけど、今日の話を聞いて、被爆者はいままで一番くらいのつらさや痛だったと思いました。

そして、この原子爆弾を投下されるのは、ぜ、たいにいやだと思ひ、日本が平和をちかた(?) ことが、今の日本人としては、すごくいいことだと思ひました。